



タイトル「**2023年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**(共通)**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT/SSCS1722		
科目名	日本語Ⅱ		
担当教員	山崎 真紀子		
対象学年	1年,2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	月 5		
講義室	国際交流センター	単位区分	必,選必
授業形態	演習	単位数	1
科目大分類	総合教育		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	語学		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-D〔市民的素養と市民的教養〕市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観、動機を動員することができる。 DP2-A〔日本の精神文化を理解し多様な価値を受容する姿勢〕地球的視点で物事を多面的に捉え、日本の精神文化を理解し異文化との交流の重要性を認識することができる。 DP4-I〔表現力・分析力〕文章表現を扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析を円滑に粉うことができる。 DP6-K〔表現力・対話力、ライティングコミュニケーション、オーラルコミュニケーション〕文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 A1 文化的自己意識、文化的多様性への理解（10%） A2 異文化適応、言語的コミュニケーション（10%） D1 文化的素養、知識の獲得、市民参加のためのコミュニケーション、市民的行動と省察と参加（40%） I1 内容理解、文理解の分析、解釈、読者の声（15%） I2 表現、コミュニケーション（5%） K1 ライティング・コミュニケーション、目的及び文脈の理解、構成、内容の展開（10%） K2 オーラル・コミュニケーション、内容の構造化、言葉選び、話しの運び（10%）		
教員の実務経験	なし		
成績ターゲット区分	2進期～3発展期		
科目概要・キーワード	基本的なコミュニケーションの力を養い、日本語で主に自分自身に関することについて話したり聞いたりできるようになりましょう。 （キーワード）日本語によるコミュニケーション力、日本の精神文化を理解し多様な価値を受容する姿勢 ※授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れます。		
授業の趣旨	■ 副題 競技スポーツに関わる上で必要な日本語力、表現力を身につけましょう。 ■ 授業の目的 アスリートやコーチを目指すうえで競技スポーツに必要な表現力、対話力を修得し、他者理解能力など競技スポーツのゼネラリストとしての能力を身につけます。 ■ 授業のポイント 初級レベルの日本語力を身に付け、日本の精神文化を理解し、学んだ日本語を使って、日常生活や大学生活での基本的なコミュニケーションが出来るようになることを目的とします。		

総合到達目標	■グローバルパーソンとしてコミュニケーションできる能力を高めるために、日本語の基礎知識を習得する。また、文章及び口頭で自らの考えを的確に表現し、日常生活に必要な基本的なコミュニケーション能力を身につける。 ・ひらがな・カタカナを完全に読み書きすることができる。 ・日本語の基本的な4技能（聞く・話す・読む・書く）の入門編が身につく。 ・簡単な日本語を読み、書くことが出来る。日本語の基本的な構造を理解し、正確に使うことができる。 ・挨拶、自己紹介、食事の注文、買い物、交通機関の利用、電話等、日常生活で必要とする簡単な表現ができる。	
成績評価方法	■授業理解確認課題2回（20%）:適用ルーブリック A1・A2・D1 （評価の観点）当該単元の授業理解度を評価します。 （フィードバック方法）授業時間中、あるいはポータルにて解説・講評を行います。 ■中間総括・到達度確認・リアクションペーパー講評（30%）:適用ルーブリック K1・K2 （評価の観点）日本語授業内容の理解度を評価します。 （フィードバック方法）授業時間中、あるいはポータルにて解説・講評を行います。 ■授業総括・到達度確認・レポート講評1回（50%）:適用ルーブリック K1・K2 （評価の観点）日常生活で必要とする簡単な表現が日本語でコミュニケーションできるかを評価します。 （フィードバック方法）授業時間中、あるいはポータルにて解説・講評を行います。	
履修条件	日本語学習経験無し／ほぼ無しの外国人留学生	
履修上の注意点	日本語の学修は、書くことを毎日欠かさず繰り返し行うことが大切です。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス、クラスで使う言葉、ひらがな読み書き ②授業概要 本授業の内容、目標、注意点、成績評価などを確認したあとに、クラスでよく使う言葉を覚え、 反復練習する(A1、A2、D1)。 ひらがなの読みと発音練習をし、書く練習を行う。 ③予習（60分） シラバスを読む。 ④復習（60分） 学習した日本語表現を繰り返し練習する。ひらがなの読み書き練習を行う。 ※下記15回の授業計画については、履修者の事前知識や習熟度、領域比・人数などに応じて最適化するために多少調整する場合がある。変更がある場合には授業内、あるいはポータルにて指示する。
	2	①授業テーマ Unit1-2 自己紹介 ひらがな書き ②授業概要 テキスト本文を読み、意味の確認をし、音読をする(D1、I1、I2、K2)。更に、内容についての質問に答える練習をする。 学習者同士で質問の練習をする(D1、I1、I2、K2)。 ひらがなの書き練習をする。 ③予習（60分） テキストを読み、本文音読の練習をする。 ④復習（60分） テキストの音読。授業で学んだ語彙、表現の復習をする。ひらがなの復習をしておく。
	3	①授業テーマ Unit1-4 自己紹介 カタカナ書き ②授業概要 世界各国の名前、都市名（カタカナ）を学ぶ(A1、A2、D1)。自分の出身地と名前を書く練習をする。 本文を参考に自己紹介文を書く(A1、A2、K1)。 ③予習（60分） テキストを読み、カタカナの言葉を読む練習をする。 ④復習（60分） 自己紹介文の音読、暗唱をする。授業で学んだひらがな、カタカナ、数字の復習をしておく。

4	①授業テーマ Unit2-1 家族の紹介 ②授業概要 家族の名称、呼び方、職業の名称、日本の学校システム等を学び、家族を紹介する練習をする(A1、A2、D1、K2)。 書き方練習シート（カタカナ）でカタカナの復習を行い、フィードバックを受ける。 ③予習（60分） テキストに目を通す。 ④復習（60分） 授業で学んだ語彙、表現を使えるように練習をする。カタカナの復習をする。
5	①授業テーマ Unit2-3 家族の紹介 ②授業概要 テキスト本文について質疑応答をして内容理解を確認する。家族の尊称（〇〇さんのご両親等）を学び、学習者の家族について 質問し合う(D1、I1、I2、K2)。 文法練習シート2で表現の復習をする ③予習（60分） テキストを読み、理解できない箇所を確認しておく。 ④復習（60分） 授業で学んだ表現・文型を使えるように練習し、練習シートを復習する。
6	①授業テーマ Unit3-1 好きな物、好きなこと ②授業概要 食べ物、飲み物の言葉、スポーツや音楽の言葉、頻度の表現を学び、自分の好きな物について学習者同士で話す練習をする(A1、A2、D1、K2)。 金額の表現を学び、持ち物の値段や所持金の額について話す練習をする。 ③予習（60分） テキストに目を通す。 ④復習（60分） 授業で学んだ表現・文型を使えるように練習する。
7	①授業テーマ Unit3-3 好きな物、好きなこと ②授業概要 テキスト本文を音読をし、質疑応答練習をする(D1、I1、I2、K2)。文法練習シート3を記入し、フィードバックする。 ③予習（60分） テキスト本文を読み、理解できない箇所を確認しておく。 ④復習（60分） 授業で学んだ表現を使えるように練習する。練習シートのフィードバックを参考に復習する。
8	①授業テーマ これまでの学習内容の理解度確認 漢字ガイダンス I ②授業概要 これまでの学習内容の理解度をリアクションペーパーで確認する。 漢字のシステムについて学び、漢数字、曜日の漢字を練習する。 ③予習（60分） これまで学んだことを確認し、テキスト等を参考に復習する。 ④復習（60分） 授業で学んだ漢字を練習する。
9	①授業テーマ Unit4-1 一日の過ごし方 ②授業概要 格助詞「に」（目的地、時刻）、「で」（場所）、「から～まで」（時間）を使用し、自分の日常的行動を述べる練習をする(A1、A2、D1、K2)。時刻と時間の表現を学び、使用できるようにする。 ③予習（60分） テキストに目を通す。新出語を確認しておく。 ④復習（60分） 授業で学んだ語彙、表現を使えるように練習する。
10	①授業テーマ Unit4-3 一日の過ごし方 ②授業概要

		本文の内容についての質疑応答をし、内容理解を確認する。学習者同士で一日の生活について質疑応答の練習をする(D1、I1、I2、K2)。 文法練習シート4に記入し、フィードバックを受ける。 ③予習 (60分) テキスト本文を読み、理解できない箇所を確認しておく。 ④復習 (60分) 授業で学んだ語彙、表現を使えるように練習する。練習シートを復習する。
11		①授業テーマ Unit5-1 いつもの夕食と週末の食事 ②授業概要 料理の名前を学び、いつもの夕食について説明できるようにする。「～ました」を用いて前日の食事の様子を述べる練習をする(A1、A2、D1、K2)。 形容詞を用いた表現を使えるようにする。 ③予習 (60分) テキストに目を通す。 ④復習 (60分) (90分) 授業で学んだ語彙、表現を使えるように練習する。
12		①授業テーマ Unit5-3 いつもの夕食と週末の食事 ②授業概要 本文についての質疑応答をし、内容理解を確認する。学習者同士で前日の食事や外食の経験について質問し合う練習をする (A1、A2、D1、K2)。 文法練習シート5を記入し、フィードバックを受ける。 ③予習 (60分) テキスト本文を読み、理解できない箇所を確認しておく。 ④復習 (60分) 授業で学んだ語彙、表現を使えるように練習する。練習シートを復習する。
13		①授業テーマ Unit6-1 外出 ②授業概要 外出時のショッピングやデートの様子を説明する練習を行う。買いたい物の名称、位置を表す言葉、「～います、あります」の表現を用いて説明できるようにする(A1、A2、D1、K2)。 形容詞の過去形を用いた表現の練習をする。書き方練習シート6で漢字の練習をし、フィードバックを受ける。 ③予習 (60分) テキストに目を通し、新出語を確認しておく。 ④復習 (60分) 授業で学んだ語彙、表現を使えるように練習する。練習シートで漢字の復習をする。
14		①授業テーマ Unit6-3 外出 ②授業概要 本文を参考に、自分の外出の経験について作文をかき、発表する。質問を受けて答える練習をする。他者の発表を聞き、質問できるようにする(A1、A2、D1、K1、K2)。 ③予習 (60分) テキスト本文を読み、作文の内容を準備する。 ④復習 (60分) 授業で学んだ語彙、表現を使えるように練習する。
15		①授業テーマ 総復習 スピーチ ②授業概要 リアクションペーパーのフィードバックを行い、全般的な復習をする。 自分についての作文の音読、あるいは暗唱の形式でスピーチを行う。 ③予習 (60分) スピーチ用の作文を音読、暗唱し、スピーチの準備をする。 ④復習 (60分) 今まで授業で学んだ語彙、表現使えるように練習をし、フィードバックを参考に理解が不十分な箇所を復習しておく。
関連科目		日本語 1 (RMGT/SSCS1721)
教科書		「NE」テーマで学ぶ基礎日本語」VOL.1 くろしお出版 「耳から覚える日本語能力試験聴解トレーニングN4」 アルク

	「新完全マスター漢字 日本語能力試験N4 (英語)」 スリーエーネットワーク
参考書・参考URL	『みんなの日本語初級Ⅰ』（本冊）第2版 スリーエーネットワーク 『みんなの日本語初級Ⅰ 書いて覚える文型練習帳』 第2版 スリーエーネットワーク
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に指示します。 ■オフィスアワー 時間外にアポイントメントを希望する方は、メールで事前に連絡をしてください。
研究比率	

